



本校 <http://www.akitahokuyou-h.akita-pref.ed.jp/>

S S H <https://ssh.jst.go.jp/>

第9回ロケット甲子園全国大会 科学部ロケット班3位入賞

8月21日(月)、能代宇宙広場において第9回ロケット甲子園が開催されました。

この大会には第5回大会から出場しており、第5回大会は初出場で初優勝し、翌年イギリスでの国際大会に出場しました。第6回大会は惜しくも優勝を逃したものの、第7回大会では優勝に振り返り咲き、昨年イギリスで開催された国際大会に出場しました。

昨年度第8回大会において3位入賞に終わったため、今年度はまた振り返り咲きを目指しての挑戦でした。経験のある先輩のアドバイスを受けながら機体を製作した今年度のロケット班でしたが、打ち上げ時のミスが響き、今年度も3位入賞という結果になりました。



2B 岩谷龍之介

私はモデルロケット全国大会へは出場したことがあったが、ロケット甲子園は初めての大会だった。現場での機体調整の際、重量調整のコツが分からないまま調整してしまい、その結果、1回目の打ち上げ時にノーズコーンに負荷がかかりすぎ、ノーズコーンも含め、中身のパイロードまでもなくしてしまった。科学部員全員を巻き込んで作り直しとなり、感謝の気持ちで2回目に臨んだ。今度は1回目の失敗を受けて何も搭載せずに打ち上げた。まっすぐ飛び回収にも成功したが総合成績は3位入賞だった。私自身としては初めての大会であったが、2回目の打ち上げがなければこのような結果に辿り着くことができなかった。科学部のみんなに感謝している。

1A 千葉駿太

今回のロケット甲子園は私たち3人とも初めての出場であり、私は何をすべきか分からなかった。設計図を書くのも分からないことばかりで苦労したが、先生や先輩に聞きながら3人で協力して作り上げることができた。

大会では、1回目の打ち上げで機体が藪の方へ落ちてしまい、探すのにとても時間がかかってしまった。しかもこのアクシデントで高度計とタマゴケースを失ってしまった。科学部の仲間のお陰で2回目の打ち上げができる状態にこぎ着けることができた。2回目は1回目の反省を活かして打ち上げることができたが、結果は3位でした。

この結果はロケット班だけでなく科学部全員で掴んだ結果だ。今回の経験を活かし、よりよいロケット作りに励みたい。

1D 中島颯希

私は今回初めてロケット甲子園に出場した。ロケット製作について私が最も大変だった作業は、タマゴケース作りだ。なかなかサイズが合わず、隙間ができないよう何度も作り直した。設計図を何度も書き直して部品を作り、合わなかったり、簡単に抜けたりするというミスを繰り返し、試行錯誤を重ねてやっと完成させることができた。

本番の1回目は思ったより機体の重量が少なかったため、ノーズコーンに粘土を詰めてバランスを取った。しかし、逆噴射した際に内部パーツをすべて失ってしまう結果となった。2回目はその反省を踏まえ重りを入れずに飛ばしたが、目標高度に届かないという結果になった。来年度は目標に届くよう頑張りたい。